

いのちの言の葉2015

富山県教育委員会平成27年度いのちの教育総合支援事業

「富山大空襲を経験して」(道徳)

氷見市立久目小学校

平成27年9月24日実施

【いのちの先生】

森田 忠雄先生

・義肢製作所会長

【授業の概要】

- 1 富山大空襲の様子
- 2 戦後の富山の様子
- 3 現在の自分の生き方

(児童の感想)

①私は戦争はとってもこわいんだなあと思いました。たくさんの方がなくなって、男の人は戦争に行かなくてはいけなかったなんて、こわくてしょうがありません。

これからも平和な日本でいてほしいです。

②今日の「いのちの授業」で、改めて命が大切なことを知りました。戦争をすればたくさんの方が亡くなります。戦争がなければ爆弾などで戦争で命を亡くすることがなく、平和にさせると思います。これからも一人に一つだけの命を大切にしたいです。

(保護者より)

戦後70年の年に、子供たちが戦争について貴重なお話が聞けたと知りました。私も、富山大空襲を体験した方に話を聞いたことがあります。富山市が大きな被害を受け、やけどで身体中がただれた人、亡くなった子供を抱いたまま座っている人、水を求めて川で亡くなった人など、たくさん見たと聞きました。

今、平和であることが幸せであることとともに、これからも平和が続くことを祈っています。

いのちの授業「富山大空襲」(平成27年9月24日)

氷見市立久目小学校



富山大空襲を経験した森田忠雄さんから、戦争について聞きました。その当時森田さんは10歳だったそうです。左の写真のようなビラが配られました。

- ・亡くなった人は約3000人
- ・富山市はほとんどが焼失
- ・B29が低いところを飛んでいて操縦士の人が見えた。
- ・川へ逃げたがそこで亡くなった人も多かった。



<上学年児童からの質問>

- ・なぜ、日本は戦争することになったのですか。
- ・なぜ、人は戦争をするのですか。
- ・爆弾はどのくらいの大きさで、どのくらいの威力でしたか。
- ・B29の飛行機を見たときのこわさは、どうでしたか。
- ・戦争体験が役にたったことは何ですか。

<下学年児童からの質問>

- ・戦争の頃、子供たちは、何をして遊んでいたのですか。
- ・戦争のときは何を食べていたのですか。
- ・アメリカ軍は富山でどんなことをしていましたか。
- ・なくなった人は何人ぐらいでしたか。
- ・家がなくなったらどうしたよいですか。

